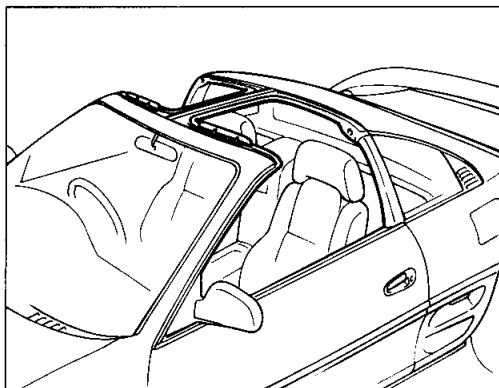


Tバールーフ	96
トラクションコントロール(TRC)	99



## Tバールーフ

### 装着車あり

Tバールーフはルーフの左右が別々に脱着でき、ルーフ内の内側にはサンシェードも備えられています。

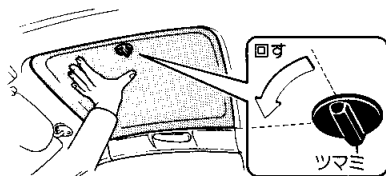


トヨタ純正品以外のルーフラック、スキーラックを取りつけないでください。Tバールーフを損傷するおそれがあります。

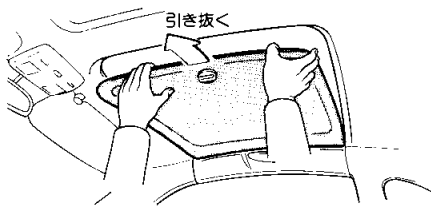
サンシェードを脱着するときは、サンバイザーを下げてから脱着操作を行います。

### ▶サンシェードの取りはずし方

1. LOCKつまみを左に90°回してロックをはずします。



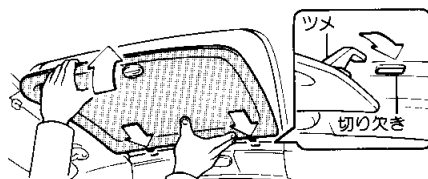
2. サンシェードを室内側に引き抜きます。



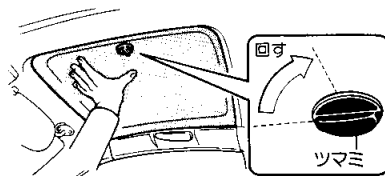
警告  
走行中にサンシェードの脱着操作を行わないでください。急ブレーキをかけたときなどにサンシェードが飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

### ▶サンシェードの取り付け方

1. サンシェード側面のツメをルーフ側面の切り欠きにあわせて差し込みます。



2. LOCKつまみを右に90°回してサンシェードを固定します。



警告  
走行する前にサンシェードが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとサンシェードが急にはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。危険です。

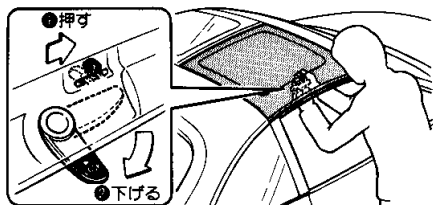


アドバイス

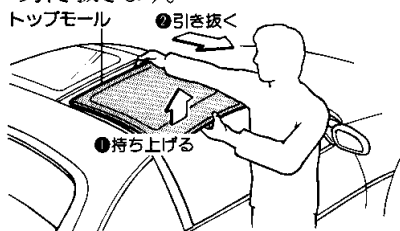
サンシェードは左右それぞれ専用なので取りつけるときは注意してください。誤って取りつけるとサンシェードのツメを損傷するおそれがあります。

▶ルーフの取りはずし方

1. サンシェードを取りはずします。(前ページの「サンシェードの取りはずし方」を参照してください。)
2. ①UNLOCKノブを車両前方へ押したまま、②ハンドルを引き下げます。



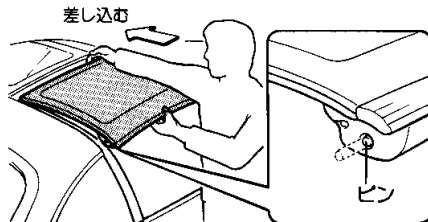
3. ①ルーフ側面を上方へ軽く持ち上げ、②トップモールから引き抜きます。



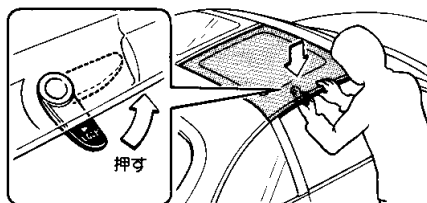
走行中にルーフの脱着操作を行わないでください。急ブレーキをかけたときなどにルーフが飛び出すなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

▶ルーフの取り付け方

1. ルーフ左右のロックピンが出ていないこと（ハンドルが下がった状態）を確認し、ルーフをトップモールの溝に差し込みます。



2. ルーフを静かにおろし上から押えつけながら、ハンドルをカチッと音がするまで押し上げます。



走行する前にルーフが確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとルーフが急にはずれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



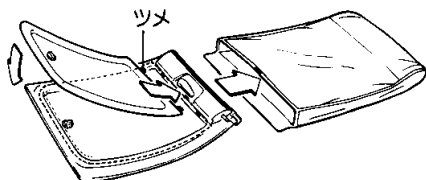
ルーフは左右それぞれ専用なので取りつけるときは注意してください。誤って取りつけるとルーフを損傷するおそれがあります。

▶ルーフおよびサンシェードの格納のしかた

取りはずしたルーフおよびサンシェードは備えつけの収納袋に納めて、シートうしろ側に置き、固定ベルトで固定します。

◀収納袋への納め方

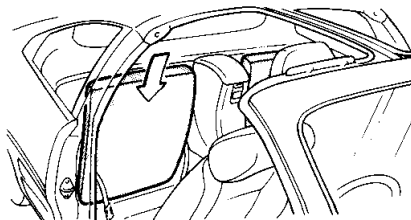
ルーフとサンシェードを一緒に収納する場合は、サンシェードのツメをルーフの切り欠きに差し込んでから収納袋に納めます。



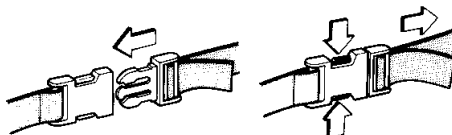
ルーフは必ず収納袋に納めてから格納してください。収納袋を使用しないとルーフに傷がつくおそれがあります。

◀格納のしかた

1. ガラスの上面を車両前方に向け、ハンドル部を下にしてシートうしろ側に置きます。



2. ベルトで固定します。ゆるいときはベルトの長さを調整してください。

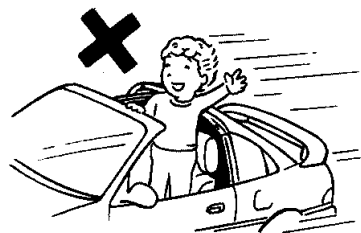


◀はめるとき

◀はずすとき



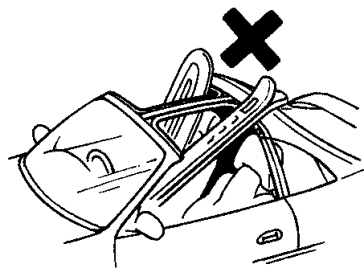
1. 走行中はルーフから手や顔を出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



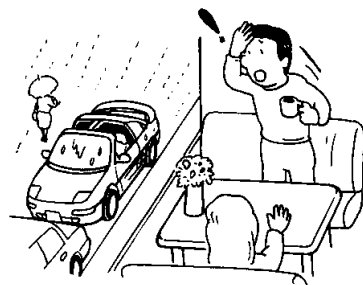
2. 開口部に腰をかけないでください。ルーフがへこんだり、万一のとき車から投げ出され、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



ルーフから荷物がはみ出さないようにしてください。車外のものに当たるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。



1. 車から離れるときや洗車時には、完全に取りつけられていることを確認しましょう。



2. ルーフ上に水や雪がないことを確認してから取りはずしましょう。水や雪がある状態で取りはずすと、室内に水や雪が入り、ぬれることがあります。

## トラクションコントロール(TRC)

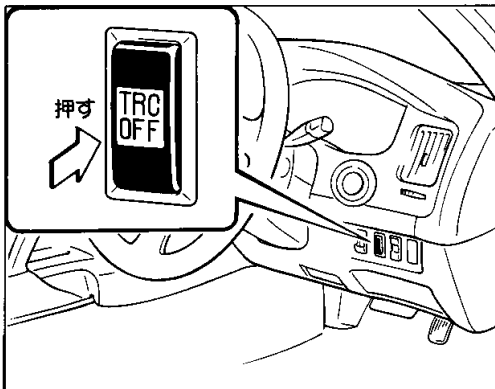
### GT、GT-Sに注文装備

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進や加速時に生じる後輪の空転を制御し、車両の安定性と後輪の駆動力を確保する装置です。エンジンスイッチをONにするとシステム作動可能状態になります。



トラクションコントロールを過信しないでください。トラクションコントロールが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけ、作動表示灯が点滅したときはとくに慎重に運転してください。

### ■ TRC OFFスイッチ

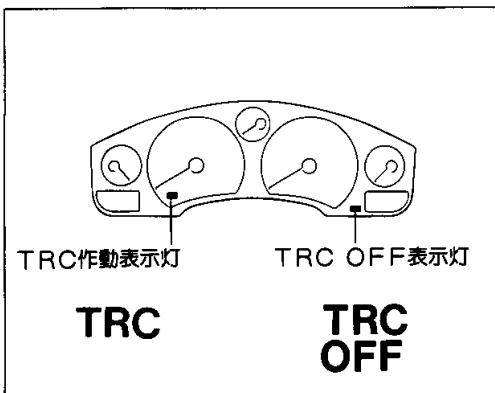


1. スイッチを押すと作動停止状態になり、OFF表示灯が点灯します。

もう一度押すと作動可能状態になり、表示灯が消灯します。

2. 通常はできるだけ作動可能状態で使用してください。

### ■ TRC作動表示灯 & OFF表示灯



1. 作動表示灯およびOFF表示灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
2. 走行中にシステムが作動すると、作動表示灯が点滅します。



1. トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じたり、音がすることがありますが、これはブレーキ制御によるもので異常ではありません。
2. エンジンを始動するとフロントトランクから“カチカチ、トン”などの音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で異常ではありません。
3. むかすみ、新雪などからの脱出時、アクセルペダルを踏み込んでエンジン回転が上がらない場合があります。



作動表示灯、OFF表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- ・エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき
- ・作動表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき
- ・トラクションコントロールが作動可能状態でOFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき